

平成26年度  
保健所年報

(平成27年度版)



伊賀庁舎のマスコットキャラクター 「もーにんちゃん」(左)と「おーちゃん」(右)

## 三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802 番地 三重県伊賀庁舎内

(保健衛生室)

総務企画課

TEL 0595-24-8070

健康増進課

TEL 0595-24-8045

地域保健課

TEL 0595-24-8076

衛生指導課

TEL 0595-24-8080

FAX 0595-24-8085

〔ホームページ URL〕 <http://www.pref.mie.lg.jp/GHOKEN/HP/>

〔Eメールアドレス〕 [ghoken@pref.mie.jp](mailto:ghoken@pref.mie.jp)

## 目次

1 管内概況	
(1)伊賀保健所の概要	..... 1
(2)相談等日程	..... 2
(3)管内の状況	..... 2
(4)人口動態統計	..... 6
2 「みえ県民カビジョン」による事業実績	
<b>I「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～</b>	
111 防災・減災対策の推進	
11105(災害医療体制の整備)	
1 災害拠点病院	..... 10
113 食の安全・安心の確保	
11301(食品の安全・安心の確保)	
1 食品衛生	..... 11
114 感染症の予防と体制の整備	
11401(感染症予防普及啓発の推進)	
1 感染症の予防事業	..... 13
11403(感染症対策のための相談・検査の推進)	
1 エイズ対策事業	..... 14
2 結核対策事業	..... 15
121 医師確保と医療体制の整備	
12101(医療分野の人材確保)	
1 管内保健師設置状況	..... 20
2 保健師等研修状況	..... 20
3 看護学生等保健所実習指導	..... 20
12102(救急・へき地等の医療の確保)	
1 地域救急医療対策事業	..... 21
2 救急告示病院	..... 21
12103(医療の質の向上)	
1 医務	..... 22
123 こころと身体の健康対策の推進	
12301(健康づくり活動の推進)	
1 健康づくり総合推進事業	..... 23
2 健康食育推進事業	..... 24
3 栄養施行事務事業	..... 25
12302(こころの健康づくりの推進)	
1 こころの健康づくり事業	..... 27
2 自殺予防対策	..... 27
12303(生活習慣病・難病対策の推進)	
1 原子爆弾被爆者対策事業	..... 30
2 難病対策事業	..... 31
3 難病在宅ケア事業	..... 35

## 目次

4 臓器移植啓発事業	……	38
5 ハンセン病啓発事業	……	38
6 骨髄バンク	……	38
134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保		
13401(薬物乱用防止対策の推進)		
1 薬物乱用防止対策	……	39
13402(医薬品等の安全な製造・供給の確保)		
1 薬事	……	41
2 講習会	……	41
3 献血推進	……	44
13403(生活衛生営業の衛生水準の確保)		
1 生活衛生	……	45
13404(人と動物との共生環境づくり)		
1 狂犬病予防法等施行事務	……	46
2 動物愛護	……	46
141 介護基盤整備などの高齢者福祉の充実		
14101(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)		
1 介護保険制度	……	47
14102(介護基盤の整備促進)		
1 老人保健福祉施設等の設置状況	……	48
142 障がい者の自立と共生		
14202(障がい者福祉サービスの充実)		
1 障がい者福祉	……	49
14204(精神障がい者の保健医療の確保)		
1 精神保健福祉事業	……	51
143 支え合いの福祉社会づくり		
14301(地域福祉活動と権利擁護の推進)		
1 民生委員・児童委員	……	56
14304(ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進)		
1 おもいやり駐車場利用証制度	……	56
<b>II「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～</b>		
232 子育て支援策の推進		
23202(母子保健対策の推進)		
1 母子保健事業	……	57
2 母体保護事業	……	59

\* 事業実績は、次ページの「みえ県民カビジョン」の政策・事業体系に沿ってまとめました。

# 「みえ県民カビジョン」の政策・事業体系

「みえ県民カビジョン」は、長期的な視点から、三重のあるべき姿を展望し、県政運営の基本姿勢や政策展開の方向性を示す、平成24(2012)年度からのおおむね10年先を見据えた県の戦略計画です。社会経済情勢の変化に対応し、県民の皆さんと力を合わせて新しい三重づくりをめざそうとするものです。

基本理念の実現に向けて、〈政策展開の基本方向〉(三つの柱)を定めるとともに、その下に16の〈政策〉、56の〈施策〉を位置づけて、県政を推進していきます。

## I 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策	施策	基本事業	ページ
1	危機管理		
1	防災・減災対策の推進		
		11105(災害医療体制の整備)	..... 10
3	食の安全・安心の確保		
		11301(食品の安全・安心の確保)	..... 11
4	感染症の予防と体制の整備		
		11401(感染症予防普及啓発の推進)	..... 13
		11403(感染症対策のための相談・検査の推進)	..... 14
2	命を守る		
1	医師確保と医療体制の整備		
		12101(医療分野の人材確保)	..... 20
		12102(救急・へき地等の医療の確保)	..... 21
		12103(医療の質の向上)	..... 22
3	こころと身体健康対策の推進		
		12301(健康づくり活動の推進)	..... 23
		12302(こころの健康づくりの推進)	..... 27
		12303(生活習慣病・難病対策の推進)	..... 30
3	暮らしを守る		
4	薬物乱用防止等と医薬品の安全確保		
		13401(薬物乱用防止対策の推進)	..... 39
		13402(医薬品等の安全な製造・供給の確保)	..... 41
		13403(生活衛生営業の衛生水準の確保)	..... 45
		13404(人と動物との共生環境づくり)	..... 46
4	共生の福祉社会		
1	介護基盤整備などの高齢者福祉の充実		
		14101(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)	..... 47
		14102(介護基盤の整備促進)	..... 48
2	障がい者の自立と共生		
		14202(障がい者福祉サービスの充実)	..... 49
		14204(精神障がい者の保健医療の確保)	..... 51
3	支え合いの福祉社会づくり		
		14301(地域福祉活動と権利擁護の推進)	..... 56
		14304(ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進)	..... 56

## Ⅱ「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政 策      施 策      基本事業

2 子どもの育ちと子育て

3 子育て支援策の推進

23202(母子保健対策の推進)

…… 57

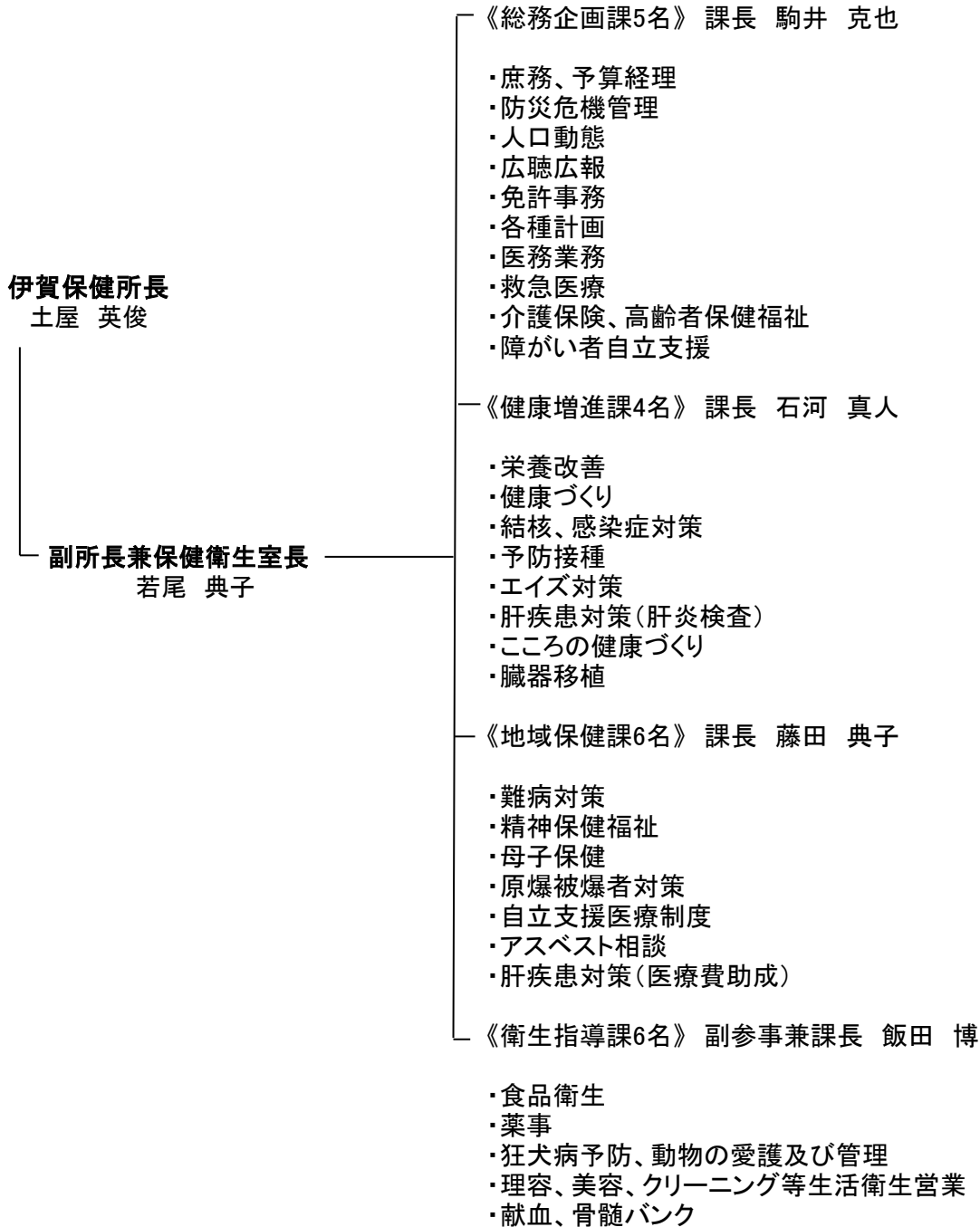
## Ⅲ「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

\* 伊賀保健所に関する事業のみ抜粋しました。

# 1 管内概況

## (1) 伊賀保健所の概要(平成27年度体制)

### 伊賀保健所組織及び所掌事務



(2) 相談等日程

	午前	午後	場所
月曜日			
火曜日	エイズ・肝炎の相談・検査 (要予約) 9:00～11:00		県 伊賀庁舎
水曜日		精神保健相談(要予約) (第4週) 14:00～16:00	県 伊賀庁舎
木曜日	骨髄バンク(ドナー登録) (要予約) (第2週)9:00～12:00		県 伊賀庁舎
	結核検診 (第2・4週)12:30～13:30		県 伊賀庁舎
金曜日			

(3) 管内の状況

ア 各市の状況

種別 市	平成22年国勢調査		平成26年10月1日現在				世帯数の 伸び率	人口の 伸び率
	世帯数	総人口	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	総人口	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )		
計	64,396	177,491	687.93	65,279	171,538	249.4	101.4%	96.6%
伊賀市	34,915	97,207	558.17	34,604	92,905	166.4	99.1%	95.6%
名張市	29,481	80,284	129.76	30,675	78,633	606.0	104.1%	97.9%

\*資料:三重県戦略企画部統計課 平成26年10月1日推計人口

## イ 管内の概況

平成 16 年 11 月 1 日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の 6 市町村が合併し「伊賀市」が誕生したことにより、管内は名張市との 2 市体制となっています。

### (ア) 位置・面積・気候

伊賀地域は、三重県の西北部、関西圏と中部圏のほぼ中央に位置するとともに、北は滋賀県、西は京都府、奈良県に接しており、古くから経済・文化ともに関西圏の影響を強く受けている地域です。

また、当地域は内陸盆地で、中央に上野盆地、南に名張盆地があり、東の鈴鹿、布引山系、西の笠置山系、南の室生火山群、北の信楽高原と標高 500～800m の山々に囲まれ、総面積は 687.93k m<sup>2</sup>で、県土の約 12%にあたります。

山地が約 62%(421.37k m<sup>2</sup>)を占めますが、盆地内は標高 130～160m で、柘植川、服部川、木津川、名張川が流れ、伊賀市街、名張市街などを潤し、その全てが木津川に集まり、さらに淀川となって大阪湾に注いでいます。

伊賀地方の気候は、典型的な内陸盆地気候です。伊賀盆地の中央にある伊賀市の年平均気温が 14℃前後で、県内の観測所ではいちばん低くなっています。山地を除くと1月の平均気温は3℃で、県内では最も寒さの厳しい地域です。逆に夏の暑さは場所によっては40℃を超えた記録もあるように、夏と冬や朝と夕の温度差が大きい内陸型の気候の特徴を示しています。また、年間降水量は 1,300mm～1,500mm で県内で最も雨の少ない地域です。また年間を通じて盆地特有の放射霧が多く発生し、特に10～11月に発現率が高くなっています。

### (イ) 人口

伊賀地域の人口は、平成 26 年 10 月 1 日現在 171,538 人であり、県の総人口に占める割合は約 1 割です。

昭和 40 年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、各市町村とも減少していましたが、その後徐々に増加し、昭和 55 年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続き、特に名張市と旧青山町においては、昭和 55 年以降の人口の増加が顕著です。これは、伊賀南部の近鉄大阪線沿線の住宅開発等に起因するものです。しかしながら、伊賀地域の人口は平成 12 年をピークに僅かずつではありますが減少傾向に転じています。

また、管内の 65 歳以上の老年人口は、平成 26 年 10 月現在 49,677 人で、総人口に占める割合は、29.0%に達し、全県の老年人口の比率 27.0%を上回っています。

### (ウ) 交通

道路網については、東西幹線として名阪国道(亀山市～天理市)、国道 25 号(四日市市～大阪市)、国道 163 号(大阪市～津市)、国道 165 号(大阪市～津市)、南北幹線として、国道 368 号(伊賀市～多気町)、国道 422 号(大津市～紀北町)の主要幹線があり、また伊賀の各地区を環状に結ぶ広域農道の伊賀コリドールロードが整備されました。

交通機関は、鉄道として東西に、北部のJR関西線、南部の近鉄大阪線が、南北にこの両者を結ぶ伊賀鉄道が通じています。また北東部にはJR草津線が通っています。

このうち、近鉄大阪線については、関西圏の通勤の動脈として利便性が高くなっています。またJR関西線は、名古屋市と大阪市を最短ルートで結ぶ主要幹線鉄道であるものの単線・非電化であることから、輸送力の増大と利便性の向上が強く望まれています。



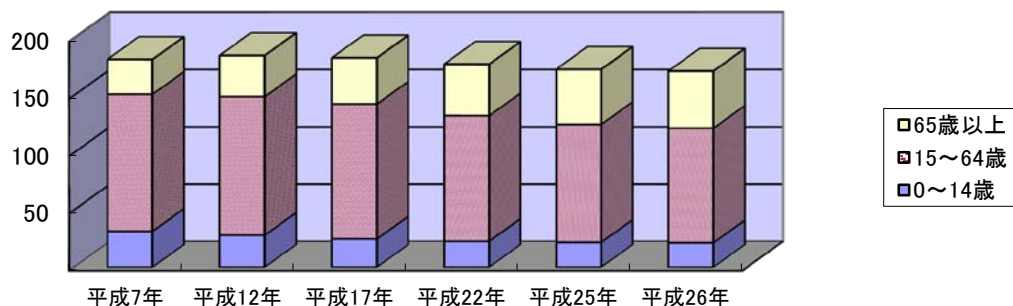


(エ) 管内人口の推移(各年10月1日現在)

	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成25年 2013年	平成26年 2014年
計	181,348	184,818	182,779	177,491	173,094	171,538
伊賀市 (旧上野市)	60,986	61,493	100,623	97,207	93,849	92,905
名張市	79,913	83,291	82,156	80,284	79,245	78,633
伊賀市 (旧伊賀町)	11,154	11,019				
伊賀市 (旧島ヶ原村)	2,934	2,752				
伊賀市 (旧阿山町)	8,500	8,427				
伊賀市 (旧大山田村)	6,186	5,987				
伊賀市 (旧青山町)	11,675	11,849				

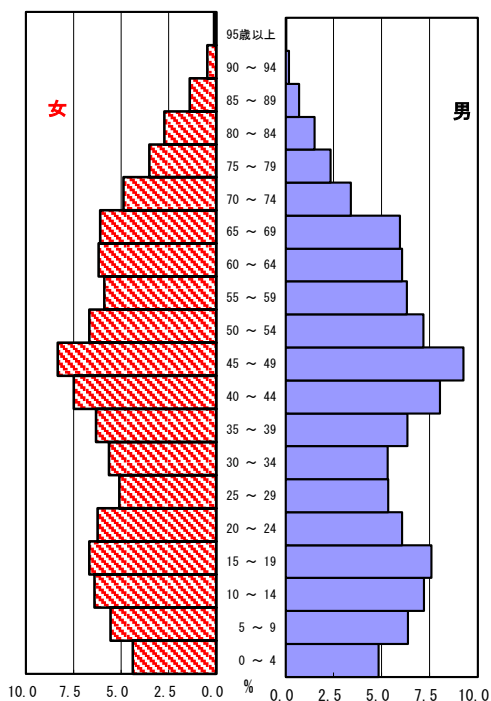
\*資料:平成7年～平成22年は国勢調査、平成25～26年は三重県戦略企画部統計課推計人口

3区分別割合の推移

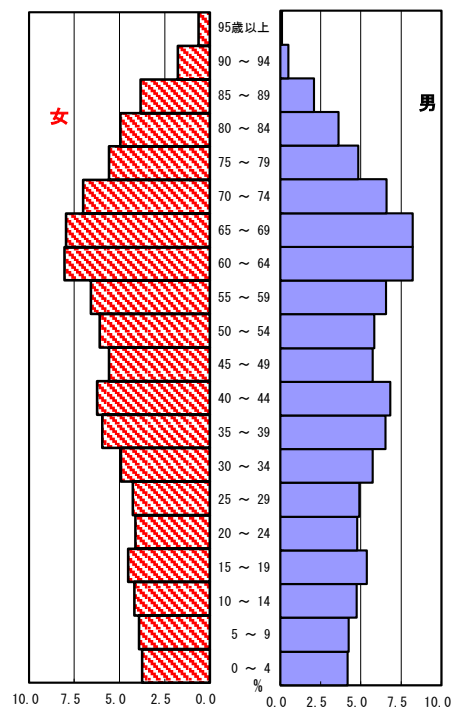


【管内の人口ピラミッド】

平成7年



平成26年



(オ) 管内市の人口構成(概数)

平成26年10月1日現在

市名	総人口	年齢区分別人口			少年人口(18歳未満人口)				計
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人 口(15～64 歳)	老年人口 (65歳以 上)	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	
管内	171,538	21,431	100,032	49,677	8,200	8,577	4,654	5,077	26,508
伊賀市	92,905	11,208	53,083	28,450	4,241	4,464	2,503	2,797	14,005
名張市	78,633	10,223	46,949	21,227	3,959	4,113	2,151	2,280	12,503
三重県	1,820,491	240,263	1,076,257	491,799	90,857	96,673	52,733	54,651	294,914

\* 資料: 三重県戦略企画部統計課推計人口

\* 年齢不詳者が存在するため、必ずしも合計数と一致しない。

平成26年10月1日現在

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人 口(15～ 64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化指 数
管内	12.5	58.3	29.0	21.4	49.7	71.1	231.8
伊賀市	12.1	57.1	30.6	21.1	53.6	74.7	253.8
名張市	13.0	59.7	27.0	21.8	45.2	67.0	207.6
三重県	13.2	59.1	27.0	22.3	45.7	68.0	204.7

○年齢構成指数の求め方

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口(0～14歳)}}{\text{生産年齢人口(15～64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

○特徴

管内人口の年齢構成は高齢化が進んでおり、老年人口割合は29.0%となっている。伊賀市では30.6%と三重県の値27.0%を上回っているが、名張市は27.0%で県全体と同じとなっている。

管内の年少人口指数については21.4と三重県の値22.3を下回っているが、老年人口指数49.7、老年化指数231.8と、いずれも三重県の値(老年人口指数45.7、老年化指数204.7)を上回っている。

(4)人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成25年の人口動態(確定数)の概況は次のとおりである。

表1 人口動態総覧(実数、率) 各市別

平成25年1月1日～12月31日

	各市 (県・全 国)	人口	出生			低体重児(再掲)*1			死亡			乳児死亡(再掲)*2		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
実 数	全国	127,297,686	1,029,816	527,657	502,159	98,624	44,697	53,927	1,268,436	658,684	609,752	2,185	1,193	992
	三重県	1,829,063	14,514	7,451	7,063	1,291	585	706	19,690	10,133	9,557	44	31	13
	管内	173,094	1,310	677	633	108	53	55	1,961	1,016	945	5	4	1
	伊賀市	93,849	641	341	300	47	22	25	1,218	625	593	3	3	0
	名張市	79,245	669	336	333	61	31	30	743	391	352	2	1	1
率	全国		8.2	8.5	7.7	95.8	84.7	107.4	10.1	10.6	9.3	2.1	2.3	2.0
	三重県		8.1	8.4	7.5	88.9	78.5	100.0	10.9	11.4	10.2	3.0	4.2	1.8
	管内		7.6	8.1	7.1	82.4	78.3	86.9	11.3	12.2	10.5	3.8	5.9	1.6
	伊賀市		6.8	7.5	6.2	73.3	64.5	83.3	13.0	13.8	12.3	4.7	8.8	0.0
	名張市		8.4	8.8	8.1	91.2	92.3	90.1	9.4	10.3	8.5	3.0	3.0	3.0
		率の算出方法	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生千 対	男子出 生千対	女子出 生千対	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対	女子 出生 千対

\*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課、人口は三重県:三重県戦略企画部統計課(平成25年10月1日現在推計人口)、全国:総務省統計局(平成25年10月1日現在推計人口)

\*1低体重児は出生体重2,500g未満 \*2乳児死亡は生後1年未満の死亡。

平成25年1月1日～12月31日

	各市(県・全国)	新生児死亡(再掲)	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	自然増加	合計特殊出生率
			総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡				
実数	全国	1,026	24,102	10,938	13,164	3,862	3,110	752	660,613	231,383	△ 238,620	
	三重県	22	304	143	161	59	41	18	8,844	3,281	△ 5,176	
	管内	2	29	11	18	2	1	1	814	331	△ 651	
	伊賀市	-	17	5	12	1	1	-	438	178	△ 577	
	名張市	2	12	6	6	1	-	1	376	153	△ 74	
率	全国	1.0	22.9	10.4	12.5	3.7	3	0.7	5.3	1.8	△ 1.9	1.43
	三重県	1.5	20.5	9.7	10.9	4.1	2.8	1.2	4.9	1.8	△ 2.9	1.49
	管内	1.5	21.7	8.2	13.4	1.5	0.8	0.8	4.7	1.9	△ 3.8	1.47
	伊賀市	-	25.8	7.6	18.2	1.6	1.6	-	4.7	1.9	△ 6.1	1.39
	名張市	3.0	17.6	8.8	8.8	1.5	-	1.5	4.7	1.9	△ 0.9	1.56
	率の算出方法	出生千対	(出産)千対			出生千対			人口千対			

\*資料: 三重県健康福祉部健康福祉総務課、厚生労働省大臣官房統計情報部

- ・△は減を示す。
- ・新生児死亡は生後4週未満の死亡。
- ・早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。
- ・死産は妊娠12週以後の死児の出産。
- ・自然増加は出生数-死亡数。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\sum_{\text{年齢15}}^{49} \text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}}$$

(ア) 出生

管内の出生数は前年より49人減少し、出生率は7.6であった。市別にみると、名張市は県の値8.1を0.3ポイント上回っているが、伊賀市は1.3ポイント下回っている。

(イ) 死亡

管内の死亡数は1,961人で前年より8人減少し、死亡率は11.3で前年より0.1ポイント上回っている。市別にみると、名張市は県の値を1.5ポイント下回っているが、伊賀市は県の値を2.1ポイント上回っている。

(ウ) 乳児死亡

乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されている。管内の乳児死亡数は前年より3人増加し、新生児死亡数も前年より2人増加した。

(エ) 死産

管内の死産数は前年より2人減の29人であった。人工死産率は13.4で三重県の値を2.5ポイント上回っている。自然死産率は8.2で県の値を1.5ポイント下回っている。

(オ) 周産期死亡

母体の健康状態に強く影響される指標である。周産期死亡数は前年より1人減少し、周産期死亡率は1.5で昨年の値を0.7ポイント下回っている。

(カ) 婚姻と離婚

婚姻件数は814件で前年より52件減少している。婚姻率は4.7で県の値を0.2ポイント下回っている。離婚件数は331件で前年より23件減少した。離婚率は1.9で県の値を0.1ポイント上回っている。

(キ) 自然増加

管内の自然増加率は-3.8で県の値-2.9を0.9ポイント下回っている。

(ク) 合計特殊出生率

管内の合計特殊出生率は1.47で昨年より0.01ポイント上回っている。伊賀市は1.39で昨年の0.05ポイント下回り、名張市は1.56で昨年の0.08ポイント上回っている。

イ 死亡の動向

死因別の死亡状況を次に示した。

表2 各市別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)

平成25年1月1日～12月31日

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	死亡率	1,076.5	1.5	285.9	12.4	6.3	160.5	101.5	15.4	99.7	14.5	1.2	10.7	23.6	85.0	37.6	19.0
	死亡者数	19,690	27	5,229	227	116	2,936	1,857	281	1,823	266	22	195	431	1,555	687	348
管内	死亡率	1,132.9	2.3	317.7	8.7	5.8	158.9	92.4	12.7	102.3	17.3	0.6	8.1	24.8	123.1	35.8	14.4
	死亡者数	1,961	4	550	15	10	275	160	22	177	30	1	14	43	213	62	25
伊賀市	死亡率	1,297.8	1.1	351.6	8.5	10.7	196.1	111.9	12.8	124.7	22.4	1.1	9.6	29.8	135.3	45.8	16.0
	死亡者数	1,218	1	330	8	10	184	105	12	117	21	1	9	28	127	43	15
名張市	死亡率	937.6	3.8	277.6	8.8	-	114.8	69.4	12.6	75.7	11.4	-	6.3	18.9	108.5	24.0	12.6
	死亡者数	743	3	220	7	-	91	55	10	60	9	-	5	15	86	19	10

\*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

—  
—

表3 各市別主要死因別年齢調整死亡率(人口10万人対)

平成25年1月1日～12月31日

	総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	374.84	0.39	119.14	4.15	1.49	50.84	30.57	5.32	26.59	4.24	0.42	5.51	6.67	16.08	17.09	17.13
管内	367.58	0.63	124.09	2.65	1.16	45.93	27.60	4.19	25.51	3.75	0.09	4.24	6.84	21.09	14.52	14.06
伊賀市	378.58	0.25	126.89	2.33	1.89	49.18	31.46	4.89	28.01	3.75	0.13	4.68	6.54	19.01	17.32	14.69
名張市	354.94	1.25	120.91	3.24	-	40.63	22.89	3.90	22.54	3.41	-	3.85	6.82	24.79	11.10	13.15

\*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\{\text{観察集団の年齢 } \chi \text{ 歳(年齢階級)の死亡率} \times \text{基準人口集団のその年齢 } \chi \text{ 歳(年齢階級)の人口}\} \text{の各年齢(年齢階級)についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口:昭和60年モデル人口の使用

表4 市別・性別・悪性新生物部位別死亡者数

平成25年1月1日～12月31日(単位:人)

各市名	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸S 状結 腸移 行部 及び 直腸	肝及 び肝 内胆 管	胆のう 及び その 他の 胆道	膵	気管、 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
三重県	計	5,229	133	726	450	249	365	232	462	1,195	170	71	106	1,070
	男	3,201	113	490	228	155	232	118	243	884	-	-	53	685
	女	2,028	20	236	222	94	133	114	219	311	170	71	53	385
管内	計	550	15	83	32	25	51	22	34	145	13	11	9	110
	男	346	13	60	19	16	36	9	18	103	-	-	4	68
	女	204	2	23	13	9	15	13	16	42	13	11	5	42
伊賀市	計	330	12	47	16	16	35	16	18	85	8	5	6	66
	男	209	10	33	8	11	24	7	9	62	-	-	2	43
	女	121	2	14	8	5	11	9	9	23	8	5	4	23
名張市	計	220	3	36	16	9	16	6	16	60	5	6	3	44
	男	137	3	27	11	5	12	2	9	41	-	-	2	25
	女	83	-	9	5	4	4	4	7	19	5	6	1	19

\*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

## ○ 特徴

管内の死因順位では、第一位悪性新生物550人(総数に占める割合28.0%)、第二位心疾患275人(同様に14.0%)、第三位老衰213人(同様に10.9%)である。これら3大死因の総数に占める割合は52.9%となっている。

年齢構成を補正した年齢調整死亡率は、管内367.58であり、主な死因別では結核、悪性新生物、腎不全、老衰がそれぞれ県の値を上回っている。

死因のうち、悪性新生物部位別死亡状況を表4に示した。

「胃」「膵」「気管・気管支及び肺」で47.6%を占めている。